

受注企業動向調査結果

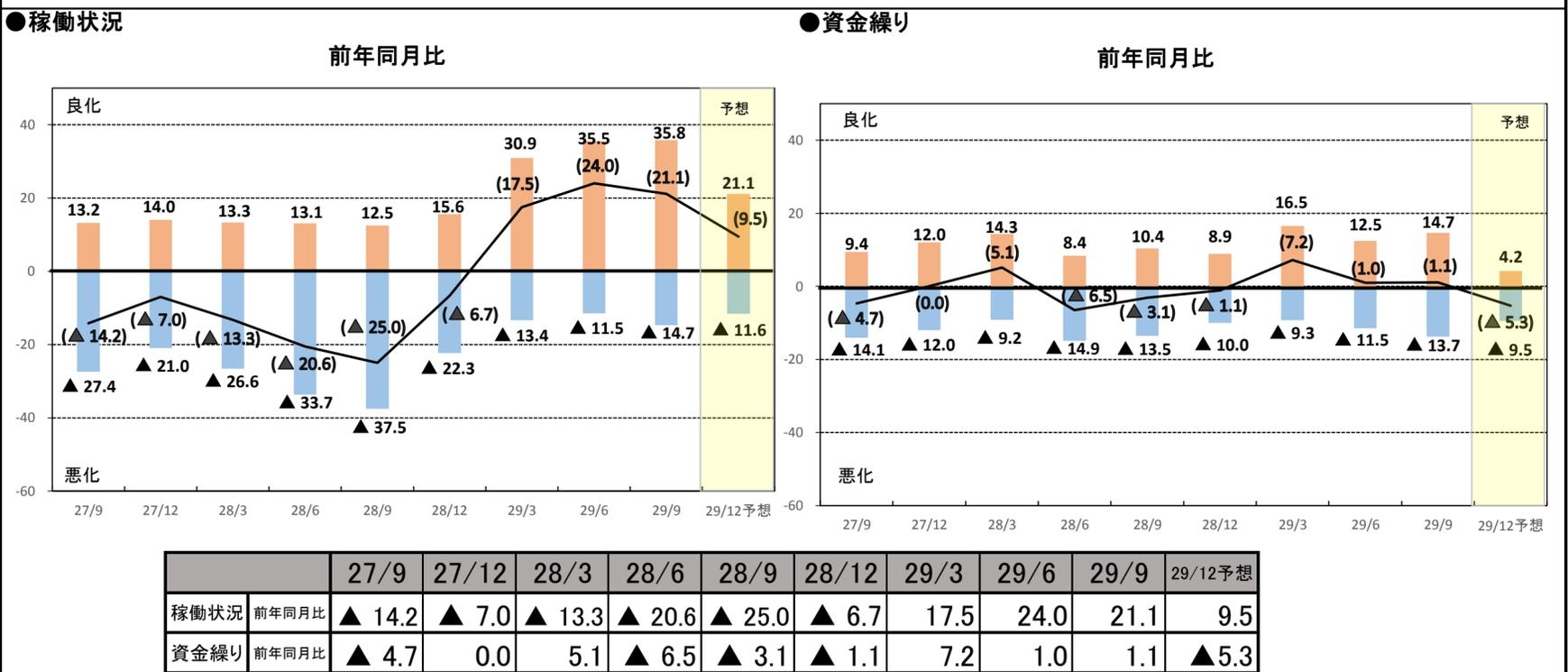
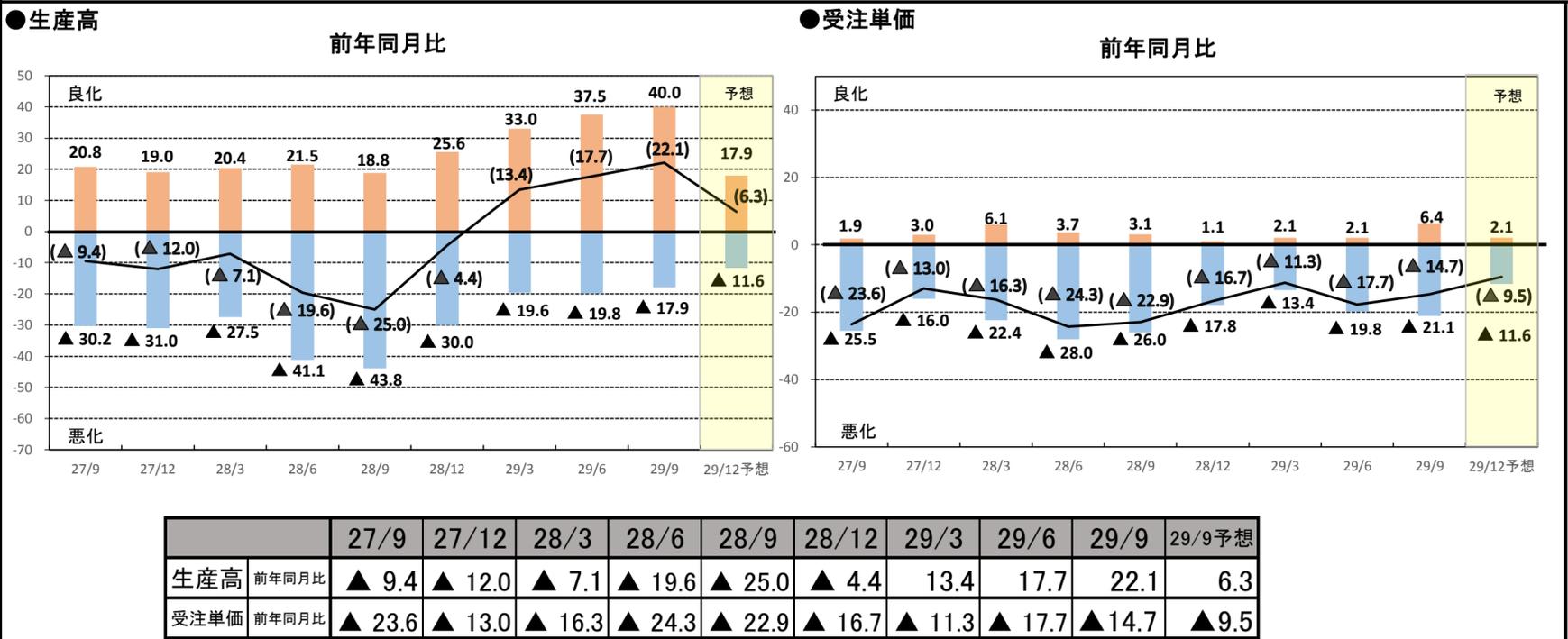
-2017.10-

- 調査時点 平成29年9月調査(平成29年9月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業95社(回答率:63.33%)

<業種内訳>

プラスチック	7社
鉄鋼・非鉄	7社
金属製品	17社
一般機械器具	21社
電気機器	19社
輸送用機器	8社
精密機器	10社
縫製	6社
計	95社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは22.1で前回の17.7から4.4ポイント増で良化となった。
- ・受注単価(前年同月比)DIは▲14.7で前回の▲17.7から3.0ポイント増で良化となった。
- ・稼働状況(前年同月比)DIは21.1で前回の24.0から2.9ポイント減の横ばいとなった。
- ・資金繰り(前年同月比)DIは1.1で前回の1.0から0.1ポイント増で横ばいとなった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が6.3で15.8ポイント減の大幅悪化、受注単価は▲9.5で5.2ポイント増の良化、稼働状況が9.5で11.6ポイント減の大幅悪化、資金繰りは▲5.3で6.4ポイント減の悪化という予想になった。
- ・その他自由意見として、人材不足及び設備不足、運賃等固定費の上昇など、今後を不安視する声が多い。